



環境経営レポート2023

対象期間：2022年3月1日～2023年2月28日



認証番号0003296

1. 事業活動の概要
2. 環境基本理念・環境経営方針・環境経営目標
3. エコアクション21実施体制・認証範囲
4. 環境経営目標・環境経営計画・具体的実施項目
5. 主な環境経営目標の実績
6. 環境経営活動のご紹介
7. 環境関連法規等の遵守状況・違反・訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価の見直し・指示

(2017年版ガイドラインによる環境経営レポート記載事項)



森の住人シリーズ⑥



私たちは、すべての事業活動において「地球への環境負荷の低減」と「循環型社会の実現」に努力し、「安全・安心で快適な社会」づくりに貢献します。

2023年10月31日発行

この環境経営レポートは、ホームページからもご覧いただけます。 <https://www.ts-create.jp>

1. 事業活動の概要






認証・登録事業者の概要

認証・登録事業者	高島屋スペースクリエイツ株式会社 (Takashimaya Space Create Co., Ltd.)
設立	1939年6月1日 株式会社高島屋工作所として設立 2001年9月1日 株式会社高島屋 建築事業本部と株式会社高島屋工作所の統合により、高島屋スペースクリエイツ株式会社が発足
資本金	1億円
売上高	2022年度 245億円
従業員数	399名 (エコアクション21活動対象者は409名)
代表者	代表取締役社長 山下 恭史
認証の範囲	建設業(建築・内装仕上・大工工事等)における 企画・設計・施工管理
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 建築工事、内装仕上工事、大工工事、建具工事、管工事、土木工事等の企画・デザイン・設計・施工・監理・請負およびコンサルティング業務・ 百貨店、専門店、ショッピングセンター、飲食店、ショールーム等商業施設・文化施設・環境施設・住宅施設・宿泊施設・事務所等の開発、都市開発、地域開発、環境整備事業およびこれらに関する調査・企画・デザイン・設計・施工・監理・請負およびコンサルティング・教育業務・ 航空機、船舶、車両、自動車、一般建築内部の企画、デザイン、設計および設備の製作施工・監理業ならびにこれに関連する工事の請負業・ 各種展示会、見本市、商品販売促進のためのイベントの企画ならびにこれに関連する施設、ディスプレイに関するデザイン、設計および監理業・ 各種模型、図面等の制作業・ 和洋家具、合板、厨房用具および各種木工品ならびに金属製品の製造、加工および販売業・ 各種木材の販売業ならびに製材業・ 布団、シート、クッション、窓掛、幌、カバー類その他布帛品の受託加工ならびに製造販売業・ 室内装飾用品ならびに照明器具の製造、加工および販売業・ じゅうたん等敷物類の販売業・ 木材、家具およびその部品ならびに室内装飾用品の輸出入業
建設業許可	特定建設業許可／国土交通大臣許可(特-2)第4252号／令和 3年 3月 2日 内装仕上工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、電気工事業、管工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、ガラス工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、塗装工事業、防水工事業、建具工事業、造園工事業
一級建築士事務所	東京事務所: 東京都知事 第37270号／令和 5年 6月 1日 大阪事務所: 大阪府知事(リ) 第 9982号／令和 5年 5月 13日
対象事業所	[サイトNo. ・ サイト名 ・ サイト所在地]
01.札幌営業所	〒060-0001 札幌市中央区北一条西2-9 オーク札幌ビル2階 TEL:011-205-5211 FAX:011-205-5214
02.東北事務所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-2-11 TKビル2階 TEL:022-221-7349 FAX:022-222-4889
03.本社・東京営業所	〒103-8218 東京都中央区日本橋2-12-10 高島屋グループ本社ビル7階 TEL:03-5205-6100 FAX:03-5205-6117
04.中部営業所	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビルディング本館15階 TEL:052-589-8571 FAX:052-561-8401
05.大阪営業所	〒541-0059 大阪市中央区博労町4-2-15 ヨドコウ第2ビル 11階、12階 TEL:06-6120-9401 FAX:06-6120-9412
06.京都営業所	〒600-8031 京都市下京区貞安前之町586 寺町綾小路ビル3階-ABC号 TEL:075-353-7788 FAX:075-361-6441
07.中・四国営業所	〒730-0032 広島市中区立町1-20 NREG広島立町ビル7階 TEL:082-247-2417 FAX:082-247-2419
08.九州営業所	〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-1 明治通りビジネスセンター本館7階 TEL:092-281-5662 FAX:092-291-4005

環境基本理念

私たちは、「地球にやさしい、人にやさしい良き企業市民」として、各営業所や建設現場他、全ての事業活動において「地球への環境負荷の低減」と「循環型社会の実現」に努力し、「安全・安心で快適な社会」づくりに貢献します。

環境経営方針 (咲かせよう5つのバラ)

-  1. 環境関連法令や自主基準等の遵守、有害な物質の使用禁止に努め、安全・安心な資材・製品の使用を促進します。
-  2. CO2の削減など、環境負荷の低減に努めます。
-  3. 資源の有効活用、廃棄物の3R(発生抑制・再使用・再生利用)に努めます。
-  4. 環境に配慮した企画、設計、提案、商品開発に努めます。
-  5. 全ての従業員とその家族・お取引先に環境方針の周知をはかり、環境保全活動の輪を広げます。

 SDGs



持続可能な社会を構築しよう

2023年 3月 1日



ご挨拶

持続的な成長と飛躍に向けた事業基盤づくりの前提として、我々の行動規範の原点は「お客様第一主義」です。

2022年に従業員が、「LEED」資格を取得いたしました。

今まで以上に「環境に配慮した内装(安心安全な空間)」の提供を目指し、技術面でも”お客様と繋がって”いきます。

※「LEED」とは、米国発祥の建物や敷地利用に関して環境性能・配慮状況を評価するシステム

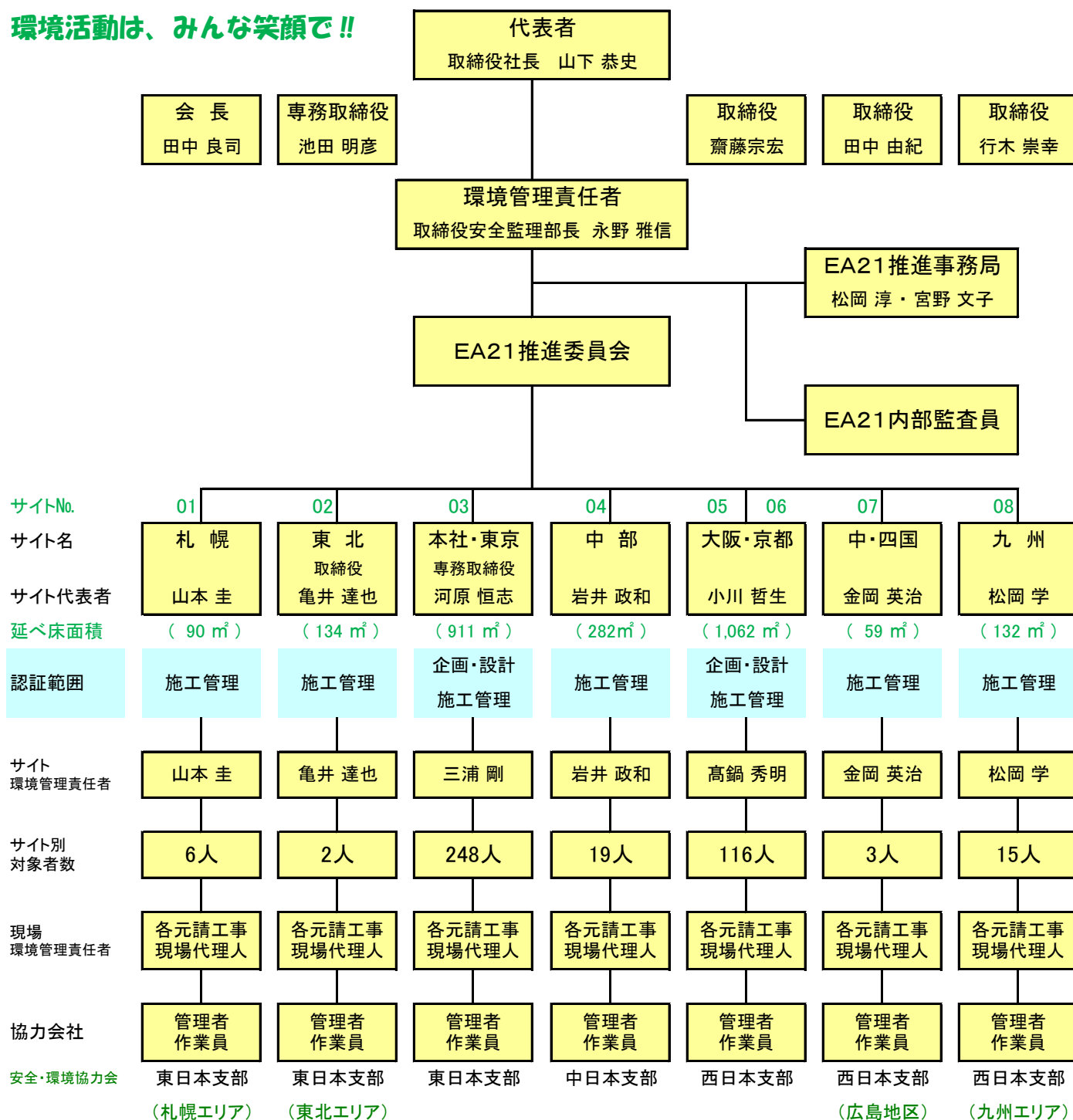


高島屋スペースクリエイツ株式会社

代表取締役社長 山下 恭史

エコアクション21実施体制・認証範囲

環境活動は、みんな笑顔で!!



※各工事現場での環境管理責任者は、現場代理人(現場所長)または現場責任者とする。(4000万円以上の元請工事現場で実施)

■ 環境管理責任者および推進事務局の連絡先

環境管理責任者 永野 雅信 安全監理部長

推進事務局(東京) 宮野 文子 安全監理部
〒103-8218 東京都中央区日本橋2-12-10 高島グループ本社ビル7階
TEL:03-5205-6100 FAX:03-5205-6117

推進事務局(大阪) 松岡 淳 安全監理部 副部長
〒541-0059 大阪市中央区博労町4-2-15 ヨドコウ第2ビル 12階
TEL:06-6120-9427 FAX:06-6120-9428

3-2. 役割・責任・権限

「エコアクション21」における各自の役割・責任・権限

役 職	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントに関する統括責任 ・環境マネジメントシステムの実施に必要な人材、設備、費用、時間等を準備あるいは承認 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直しおよび全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価および実施体制の見直しと必要な指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (安全監理部長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム(EMS)として「エコアクション21」の導入、構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21推進委員会 (各サイト環境管理責任者、 業務部および推進事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・全社共通の環境経営目標・環境経営計画書原案の作成(年間及び中長期) ・各サイト(営業所)への環境経営目標・環境経営計画の周知 ・全職員および協力会社に対する教育訓練の計画・実施の推進 ・全社的な問題点・改善点の発見、是正、予防処置の実施推進
サイト代表者 (営業所長・部門長)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト環境管理責任者とともにサイト・部門の環境経営目標・環境経営計画を立案、実施 ・サイトの環境経営計画を各部門に指示・分担し、実施状況を確認 ・サイトにおける環境経営計画の実施および達成状況の評価と見直し
各サイト別 環境管理責任者 (7名)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイトにおける環境経営目標・環境経営計画の策定 ・サイトにおける環境経営目標・環境経営計画の周知 ・サイトの職員に対する教育訓練の実施 ・サイトにおける環境経営計画の実施及び達成状況の確認、推進事務局への報告 ・サイト及び部門に特定された項目のマニュアル作成及び運用管理 ・サイトに関連する地域条例の把握と環境関連法規等の遵守評価の実施 ・サイトの緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成 ・サイトの問題点の発見、是正、予防処置の実施
現場環境管理責任者 (元請工事現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト代表者や部門管理者の指示に従い、担当工事現場の環境経営目標・環境経営計画を実施 ・担当工事現場の作業員に各自の役割を指示・分担し、実施状況を管理。実施結果を上長に報告
全従業員 (社外要員含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針と環境経営目標の理解および環境への取組の重要性を自覚 ・「私のやることカード」に明記した役割分担を実施し、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・所属上長への活動結果・記録の報告
サイト事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各サイトにおける電気、水、燃料等の使用量、産業廃棄物の排出量、その他の実績データ収集 ・各サイトにおける計測可能なCO2排出量等の算出、集計および環境活動報告書等の作成
協力会社 (安全・環境協会 会員)	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の環境マネジメントシステム(EMS)=エコアクション21における取組の理解と協力 ・協力会社社員及び下請会社への環境経営計画の周知
EA21推進事務局 (各サイトより若干名)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェックおよび環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案、各種マニュアルの取りまとめ ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ票の作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(ホームページ、グループウェアの掲示板への掲示、地域事務局への送付)
EA21内部監査員 (内部監査教育修了者)	<ul style="list-style-type: none"> ・各サイトにおける内部監査の実施および報告書の作成 ・各サイトにおける環境経営計画の進捗確認、推進支援

4-1. 環境経営目標・環境経営計画

2030年度までの 環境経営目標・環境経営計画

ESG
テーマ

サステナブルな環境をかたちにする

総合内装企業として、気候変動など世界規模の課題に取り組み、脱炭素社会、循環型社会の実現を目指します。

環境経営方針	環境経営目標	2030年度までの目標値			
		項目	目標	2030	2025
1 環境関連法令や自主基準等、有害な物質の使用禁止に努め、安全・安心な資材・製品の使用を促進します。	0101 法令・条例等の遵守	法令・条例違反0件	0件	0件	0件
		法令・条例の年1回の見直し	継続実施	継続実施	継続実施
	0102 有害物質の使用禁止 グリーン購入促進	化学物質リスクアセスメントの100%実施	100%実施	100%実施	100%実施
		事務用品のグリーン購入比率 85%以上	85%以上	85%以上	85%以上
	2 CO ₂ 削減など、環境負荷の低減に努めます。	0201 TSCの森による取組	TSCの森の維持管理継続(1993年～2053年契約)	継続	継続
TSCの森によるCO ₂ 吸収			116 t-CO ₂	186 t-CO ₂	206 t-CO ₂
0202 事務所・現場での取組		電力使用量の削減 ※2021年度より2019年度調整後排出係数に変更	96 t-CO ₂	114 t-CO ₂	118 t-CO ₂
		ガソリン使用量の削減	19 t-CO ₂	23 t-CO ₂	24 t-CO ₂
		【中期計画】 ハイブリット・PHV・EV車の導入促進(ガソリン車の全廃)	100.0%	78.6%	←
3 資源の有効活用、廃棄物の3R(発生抑制・再使用・再生利用)に努めます。	0301 廃棄物の適正処理と 混合廃棄率削減と 資源の有効活用	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の100%実施	100%実施	100%実施	100%実施
		産業廃棄物管理票(マニフェスト)の100%電子化	100%実施	100%実施	100%実施
		混合廃棄物の削減	30.2%	30.6%	30.6%
	0401 LEED認証資格の活用	LEED認証資格の取得と活用	受注促進	受注促進	←
		0402 環境に配慮したエコ材料・ 商品の情報収集・ 提案・採用	環境配慮商品(サービス)の研究開発	具現化	研究開発
5 全ての従業員とその家族・お取引先に環境経営方針の周知をはかり、環境保全活動の和を広げます。	0501 環境活動の 社内・外への周知徹底と エコ活動の拡大		定例行事で説明実施	年2回実施	年2回実施
		タイムリーな情報公開	随時	随時	随時
		環境経営レポートの年1回の更新	更新	更新	更新
		地域でのエコ活動	継続実施	全事業所で実施	←
	【中期計画】 環境教育の実施	年1回	年1回		



環境経営計画					
2023	2022	実績 2022	環境経営計画 具体的手段	担当部門	実績評価 2022
0件	0件	0件	0101① 環境関連法令・条例の100%遵守	全員	○
継続実施	継続実施	継続実施	0101② 法令・条例等の改定調査を実施	各サイト事務局、営業・制作担当者	○
100%実施	100%実施	100%実施	0102① 化学物質リスクアセスメントの推進	制作担当者	○ 該当物件のみ
85%以上	85%以上	61.9%	0102② グリーン(エコ)商品の情報収集と優先購入	全員	△ コピー用紙はクリアしている
継続	継続(除伐)	継続(除伐)	0201① 森林組合、森林管理署との連携	業務部・安全監理部担当者	○
226 t-CO2	214 t-CO2	214 t-CO2			-
123 t-CO2	127 t-CO2	90 t-CO2	0202① 不在時・休憩時間の消灯徹底	全員	○
			0202② クールビズ・ウォームビズによる冷暖房の節減	全員	○ 5月-9月・12月-2月
			0202③ 省エネ機器への入替	業務部・経営企画部担当者	-
			0202④ 現場仮設照明のLED使用推進	制作担当者、各協力会社	○
24 t-CO2	25 t-CO2	26 t-CO2	0202⑤ 営業車のエコ運転の推進	営業・制作担当者	○
			0202⑥ 営業車の利用削減(公共交通機関の利用促進)	営業・制作担当者	○
			0202⑦ 工程管理の徹底による適正配車	調達・営業・制作担当者	○
		71.4%	0203⑧ ハイブリッド車への切替	業務部担当者	× 今年度の切替なし
100%実施	100%実施	100%実施	0202⑨ 手洗いでの水を出しっ放しにしない	全員	○
			0202⑩ 水を使用しない工法への転換	調達・営業・制作担当者	-
79 t-CO2	62 t-CO2	98 t-CO2			
100%実施	100%実施	100%実施	0301① 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の100%運用	営業・制作担当者	○
100%実施	100%実施	ほぼ実施	0301② 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の電子化推進	営業・制作担当者	○
			0301③ ミスコピーの削減	全員	○
			0301④ 電子メディアによるペーパーレス化	全員	○
			0301⑤ 梱包方法の改善等によるゴミの減量化	各協力会社	○
			0301⑥ 梱包材の通い梱包化、簡素化	営業・制作担当者、各協力会社	○
			0301⑦ 手配材料(数量・長さ等)の適正化	営業・制作担当者、各協力会社	○
30.8%	30.8%	38.4%	0301⑧ 産業廃棄物分別の徹底	営業・制作担当者、各協力会社	×
			0301⑨ 社内廃棄物分別の徹底	全員	○
			0301⑩ 廃棄物処理業者の定期的視察	安全監理担当者	○
	取得	取得	0401① LEED認証資格を取得する	特命担当者	○
			0401② LEED認証資格を営業ツールにする	デザイン・営業担当者	-
		-	0402① TSCの森を活用した新たなビジネスモデルの提案	デザイン・営業担当者	-
			0402② LED照明等、環境配慮商品の拡販	デザイン・営業担当者	-
			0402③ カーボンオフセットやエコマーク商品の採用促進	デザイン・営業・調達担当者	-
			0402④ エコ材料・商品の情報収集、社内展示会の開催	デザイン・営業・調達担当者	○
年2回実施	年2回実施	年2回実施	0501① 会社・協会行事等、定期的説明会の実施	EA21推進事務局	○
随時	随時	随時	0501② 電子掲示板による環境活動の社内告知	EA21推進事務局	○
更新	更新	更新	0501③ 環境経営レポートの更新と公開	EA21推進事務局	○
		一部実施	0501④ 地域でのエコ活動の推進	全員	△
		-	0501⑤ 従業員・協力会社の産廃適正処理教育の実施	安全監理担当者	-

5-1. 主な環境経営目標の実績

各営業所の電気使用量

計測可能な二酸化炭素排出量として、各営業所での電気使用量を毎月計測しています。2019年度の実績を目標値として、それを上回らないことを前提に取り組んでいます。各工事現場においては個別に計測することができないため、集計から除外しています。

■ 2022年度 営業所別電気使用量

(単位:kWh)

営業所	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
札幌	881	518	340	437	427	534	401	434	965	1,778	1,778	1,489	9,982
東北	743	384	518	539	647	608	483	460	652	722	985	775	7,516
東京・本社	7,655	7,220	7,801	8,422	8,991	9,189	8,515	7,161	6,358	7,062	7,099	6,550	92,022
中部	1,139	1,197	1,035	1,110	1,095	1,059	1,079	1,135	1,275	1,268	1,114	1,227	13,733
大阪	5,135	4,655	4,667	5,184	5,238	5,098	5,014	4,702	4,611	5,448	5,344	5,099	60,195
京都	416	359	291	316	432	394	354	271	260	452	503	474	4,522
中・四国	501	517	419	559	849	985	841	608	450	568	637	607	7,541
九州	574	449	570	1,066	1,491	1,026	749	502	539	1,141	1,015	724	9,846
合計	17,044	15,299	15,641	17,633	19,170	18,893	17,436	15,273	15,110	18,439	18,475	16,945	205,357

■ 営業所別 電気使用量の二酸化炭素排出係数と実績

2021年度より、2019年度(調整後排出係数)に変更して二酸化炭素排出量の算出を行っています。

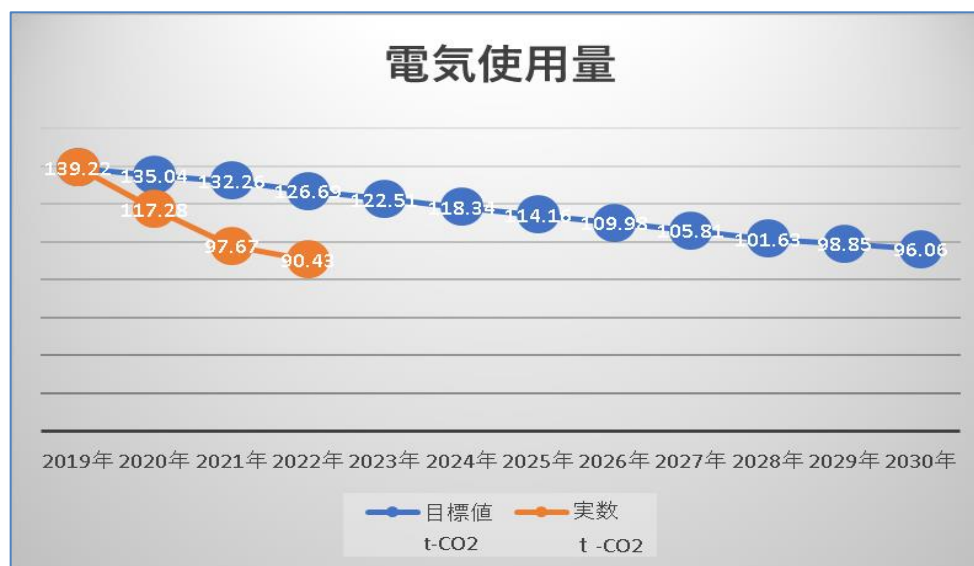
2019年度 電気事業者別排出係数 (単位:t-CO2/kWh)

営業所	事業者名	調整後排出係数
札幌	北海道電力株式会社	0.000601
東北	東北電力株式会社	0.000521
東京・本社	東京電力エナジーパートナー株式会社	0.000441
中部	中部電力ミライズ株式会社	0.000424
大阪・京都	関西電力株式会社	0.000318
大阪	株式会社エネット ※2017年度より	0.000409
中・四国	中国電力株式会社	0.000585
九州	九州電力株式会社	0.000370

2022年度 電気使用量とCO2排出量

営業所	kWh	t-CO2
札幌	9,982	6.00
東北	7,516	3.92
東京・本社	92,022	40.58
中部	13,733	5.82
大阪	60,195	24.62
京都	4,522	1.44
中・四国	7,541	4.41
九州	9,846	3.64

■ 年度別 電気使用量(全社合計)の推移



テレワークの推進や出張・残業の削減等の努力を引き続き行った結果、2019年度と比較しますと約35%の二酸化炭素排出量の削減となりました。今後も継続して節電に努めます。

5-2. 主な環境経営目標の実績

各営業所のガソリン使用量

計測可能な二酸化炭素排出量の2つ目として、各営業所でのガソリン使用量を毎月計測しています。2019年度の実績を目標値として、それを上回らないことを前提に取り組んでいます。各工事現場において協力会社のトラック等は計測することができないため、集計から除外しています。

■ 2022年度 営業所別ガソリン使用量

(単位:ℓ)

営業所	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
札幌	221	292	129	263	420	137	165	299	181	288	195	184	2,775
東北	379	184	235	472	296	316	148	42	170	123	100	52	2,516
東京・本社	80	27	45	66	19	47	127	45	63	48	56	46	668
中部	166	145	112	84	76	75	142	103	74	18	19	31	1,043
大阪	85	88	51	89	71	103	106	92	117	101	92	81	1,078
京都	※2021年2月リース返却により「ゼロ」												
中・四国	137	132	32	80	96	69	42	77	84	147	54	142	1,093
九州	120	130	44	207	213	72	174	72	152	325	237	169	1,915
合計	1,189	998	647	1,261	1,191	818	904	730	841	1,052	753	704	11,088

※本社・東京は、事務所に営業車を置いていませんが、2021年度より集計に含めます。

■ 営業所別 ガソリンのCO2 排出係数と実績

ガソリンの排出係数は、全国一律で算出しています。使用量は、ハイオクとレギュラーガソリンを合算しています。

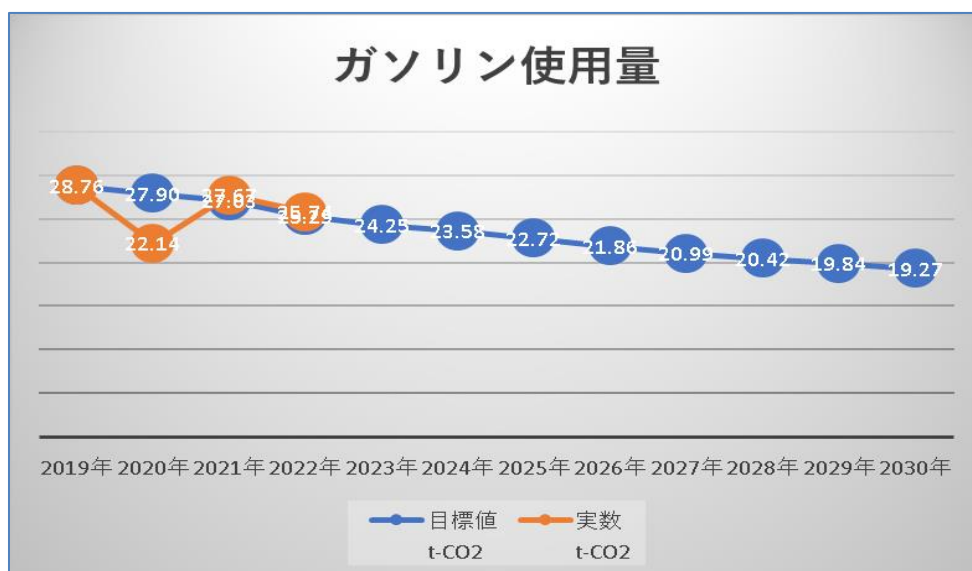
ガソリンのCO2排出係数 (t-CO2/ℓ)

営業所	事業者名	排出係数
全社	契約ガソリン販売店	0.00232

2021年度 ガソリン使用量とCO2排出量

営業所	台数	(ハイブリット)	ℓ	t-CO2
札幌	2	(1)	2,775	6.44
東北	3	(2)	2,516	5.84
東京・本社	1		668	1.55
中部	2	(2)	1,043	2.42
大阪	2	(2)	1,078	2.50
京都	-			
中・四国	1		1,093	2.54
九州	3	(3)	1,915	4.45

■ 年度別 ガソリン使用量(全社合計)の推移



都心部は公共交通機関の利用率が高く、地方営業所ほど遠隔地の営業先や現場に行くことが多いため営業車の使用頻度が高く、2022年度も目標を達成できませんでしたが、2019年度と比較しますと約10%の二酸化炭素排出量の削減となりました。今後も削減に努めてまいります。

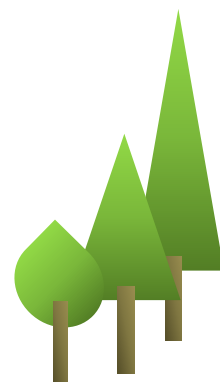
5-3. 主な環境経営目標の実績

二酸化炭素排出量

樹木は、光合成により二酸化炭素を吸収し酸素を放出する一方で呼吸もしているため、酸素を吸収し二酸化炭素を放出しています。但し、光合成に使われる二酸化炭素量は呼吸からでる二酸化炭素量よりも多いので、差し引きすると樹木は二酸化炭素を吸収していることとなります。

成長期の若い森林では、樹木は二酸化炭素をどんどん吸収して大きくなります。これに対して、成熟した森林になると、吸収量に対する呼吸量がだんだん多くなり、差し引きの吸収能力は低下していきます。

「高島屋スペースクリエイツの森」では2024年以降、二酸化炭素の吸収量は低下が予想されますが、「2030年時点での二酸化炭素排出吸収プラスマイナスゼロ」を長期目標とし、削減に務めます。



■ 年度別・営業所別二酸化炭素排出量

(単位:t-CO₂)

営業所	2019	2020	2021	2022	2023目標値
札幌	14.2	12.1	12.2	12.4	11.8
東北	11.8	10.0	12.2	9.8	9.9
本社・東京	72.5	68.6	48.6	42.1	63.7
中部	8.8	7.3	8.1	8.2	7.6
大阪	39.7	26.1	27.0	27.1	34.6
京都	5.4	4.3	1.4	1.4	4.8
中・四国	6.6	4.8	6.5	7.0	5.6
九州	9.1	6.2	9.5	8.1	7.5
合計	168.0	139.4	125.3	116.2	145.5

■ 二酸化炭素排出量と吸収量の推移



2019年度と比較しますと約30%の二酸化炭素の削減となり、目標値を大きく上回る結果となりました。ひとえにテレワークの推進や出張・残業の削減等の努力によるものと思われます。

2023年度以降、日常が戻る事が想定され、そうなりますとテレワークが減少し、人材不足による残業等の増加が予想されます。

「働き方改革」を進めて、2022年度の数値を維持できるよう努めてまいります。

5-4. 主な環境経営目標の実績

建設現場から排出される廃棄物の実績

元請の工事現場から排出される産業廃棄物量を削減したいところですが、工事内容により量はまちまちです。そこで、再資源化による最終処分量の削減に取り組むことにしました。

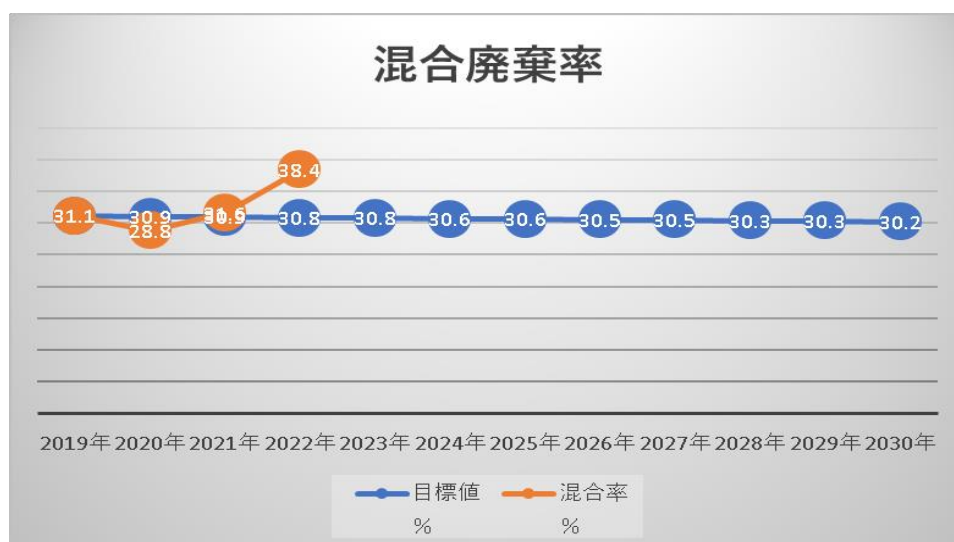
現場から出される産業廃棄物には多種多様な品目が含まれ、その性質上、そのままでは再資源化が困難です。現場分別を徹底することでリサイクル化につながり、結果、混合廃棄物の削減が実現できます。協力会社に対し現場での分別徹底を指導し、排出時に品目毎の産業廃棄物管理票(マニフェスト)を発行しています。

■ 2022年度の産業廃棄物の種類別排出量

※当社が下請の場合は元請のゼネコンが管理

産廃名称	廃プラ類	紙くず	建設工事の 木くず	繊維くず	金属くず	コンクリート、 陶磁器くず	ガラス くず	石膏 ボード	がれき類	建設混合廃 棄物	安定型混合 廃棄物	管理型混合 廃棄物	小計
マーク													
2022年 3月	10	2	39	0	8	0	2	24	32	43	5	43	207
2022年 4月	7	2	19	1	25	0	54	14	2	27	2	16	169
2022年 5月	16	5	93	0	32	0	58	30	48	49	2	64	398
2022年 6月	26	11	10	0	6	0	8	21	10	26	1	17	136
2022年 7月	10	5	17	2	19	1	4	9	32	18	1	21	139
2022年 8月	20	5	101	1	42	5	7	33	69	67	1	59	408
2022年 9月	15	1	78	0	87	0	41	43	11	79	0	67	421
2022年10月	19	2	39	0	10	1	1	28	61	70	0	63	293
2022年11月	21	4	101	2	74	21	42	52	10	101	4	76	508
2022年12月	14	0	24	2	77	13	26	33	7	82	21	38	337
2023年 1月	41	1	37	1	66	8	23	15	12	64	1	30	299
2023年 2月	49	12	163	1	52	9	35	33	11	94	3	62	523
紙マニフェスト	4	0	14	0	189	38	0	38	110	221	8	270	892
小計(t)	254	49	734	11	688	95	300	371	413	942	49	825	4730

■ 年度別 産業廃棄物における混合廃棄率(全社合計)の推移



2019年度と比較しますと約20%増加しています。撤去・解体工事が増えた＝分別ができない産業廃棄物が増えたと考えられます。

最近では、注文者が産業廃棄物の分別を指定する企業もあります。当社としても、可能な限り分別するよう徹底し、分別率の削減に努めてまいります。

全社員共通の取組

環境経営目標の達成に向けて、部門や職種にかかわらず、職員全員が意識せず自然に取り組んでいる具体的な取り組み内容をご紹介します。

■ 基本的な遵守事項(努力目標)

- ① 法令、条例、社内規程等のコンプライアンス遵守
- ② 節電 … 不在時・休憩時の消灯、パソコンの電源OFF
- ③ 節水 … 手洗いで水を出しっぱなしにしない
- ④ コピー用紙の節約 … PDFにして電子保管
プリント前に確認、裏紙の利用
- ⑤ ゴミの分別と3Rの実施
- ⑥ エコ運転と公共交通機関や自転車の利用

■ エコアクション21私のやることカード

節電や節水、ゴミの分別等、といった上記の基本項目以外に全職員がそれぞれ自分の業務に合った環境活動の役割を分担するために、「私のやることカード」に上長と相談して決めた自分の役割や目標を記載し、携帯しています。



私のやることカード

■ 室温管理と対策

事務所の各所に温度計を設置し、換気しながら冷房は28℃以上、暖房は20℃以下でキープするように空調機の温度調整を行っています。

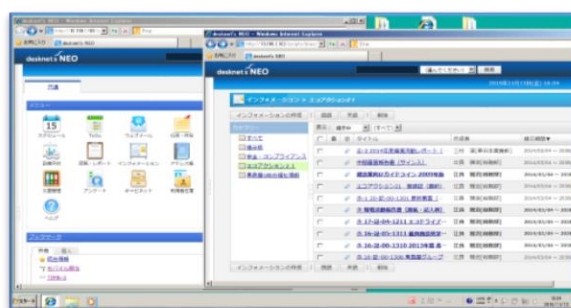
その他の室温対策は、

- ① クールビズは毎年5月1日から9月30日まで実施
- ② ブラインドや熱反射フィルムで窓からの熱を遮断
- ③ 扇風機等で事務所内の温度差をなくす
- ④ 冬場は重ね着(ウオームビズ)で対応、ほか



■ 環境掲示物と環境掲示板

エコアクション21の最新情報を共有化する方法として、各営業所の壁にポスターや通達等を掲示していますが、グループウェアの掲示板にエコアクション21のフォルダを設け、最新の環境経営レポートやトピックスを各自のパソコンからいつでも閲覧できるようにしています。



グループウェアのメニュー画面

■ 文房具や封筒の再利用と通い袋

各営業所ごとに、完工した工事現場からの返却等、使わなくなった事務用品は、リユースBOXに回収し、再利用しています。また、購入する文具は、できるだけ再使用できるような物を選び廃棄物が少なくなるように努力しています。

社内連絡用封筒は、使用済みのA4サイズ封筒に宛名用紙を貼り、繰り返し使用しています。

また、東西間の宅配便は、鍵付きの連絡便専用バッグを使用し、定期的にとまとめ発送をしています。



リユースBOXの表示と東西連絡便専用バッグ

6-3. 環境経営活動のご紹介

自社開発の前傾姿勢支持テーブル【FUNレストテーブル】

”排泄のためのよい環境づくり”を目的として開発されました。
握力や腕力があることを前提とした”手摺り”とは違い、テーブル面に体をあずけることで、緊張感や恐怖心を取り除き、座位保持を安定させることで、リラックスした排泄と安全で楽な移乗介助が可能となります。

2014年度にはIV型がグッドデザイン賞を受賞しました。
介護施設や病院だけでなく、公共施設の多目的トイレや、浴室の脱衣所に設置し、入浴時の衣服の着脱の補助としてもご利用いただいております。



3-8 ユニバーサル・ヘルスの達成



6-2 トイレ以外での排泄を無くす

【納入事例】

清水寺(多目的トイレ)

所在地：京都府京都市 竣工：2011年3月



FUNレストテーブルIV

広島平和記念資料館(東館3階多目的トイレ)

所在地：広島県広島市 竣工：2016年4月



偕楽園(東門トイレ)

所在地：茨城県水戸市 竣工：2018年1月



いけだの里(多目的トイレ 浴室脱衣室)

所在地：山梨県甲府市 竣工：2018年3月



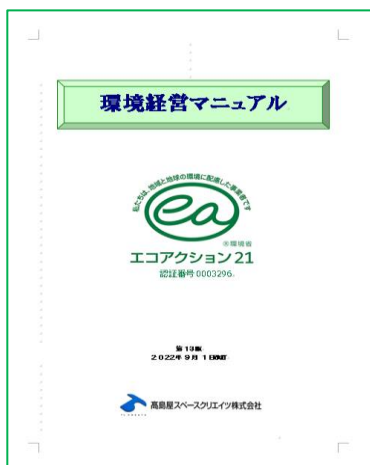
6-4. 環境経営活動のご紹介

各種環境活動・教育マニュアル

エコアクション21の活動を推進するために各種マニュアルを作成し、職員や協力会社の皆さんに対して、入社時や春の災害防止協議会、秋の安全大会など、定期的に教育・説明会を実施し、環境活動への理解を深めていただくようにしています。



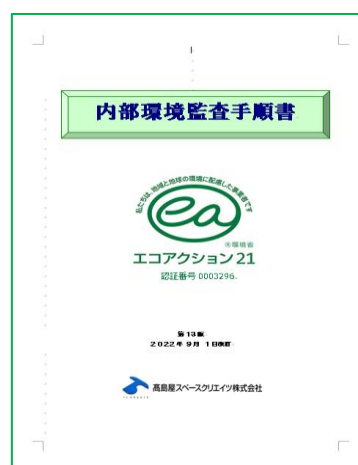
4-4
技能向上



環境経営マニュアル



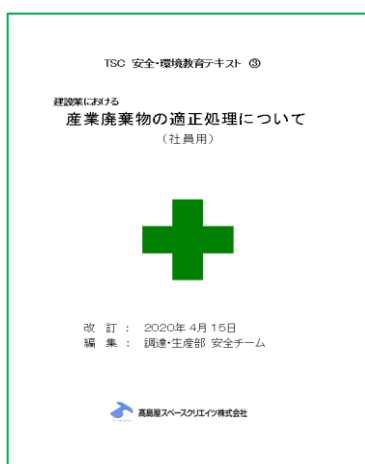
現場環境方針・目標



内部環境監査マニュアル



グリーン購入基準



建設業における産業廃棄物
適正処理マニュアル(社員用)



環境マニュアル

- (A) 産業廃棄物対応、
- (B) シックハウス対応
- (C) 石綿対応
- (D) 化学物質リスクアセスメントガイド



環境法規制等順守チェックリスト

上記マニュアルのほか、環境関連法規や基準・規定等の遵守事項を記載した「工事安全マニュアル」、「施工管理手帳」を管理者教育や作業員の送り出し教育等で配布・説明し、周知徹底を図っています。

6-5. 環境経営活動のご紹介

緊急事態の対応と防災訓練・教育

当社では緊急事態に備えて、備蓄品の管理、事故・災害・環境汚染に対応するためのマニュアルや危機管理チェックリスト、緊急連絡網などの体制を構築しています。また、緊急時の状況を把握できるよう、携帯電話を使った安否確認システムのテストを全職員を対象に行っています。

当社が入居する各地ビルが主催する震災や火災を想定した避難・救護・消火訓練は、コロナ感染予防に伴い縮小されたまま、書面での訓練を行うところもありますが、訓練がある場合は、できる限り参加するようにしています。



4-4
技能向上



5年に一度の防災備蓄品の入替(2022年8月)



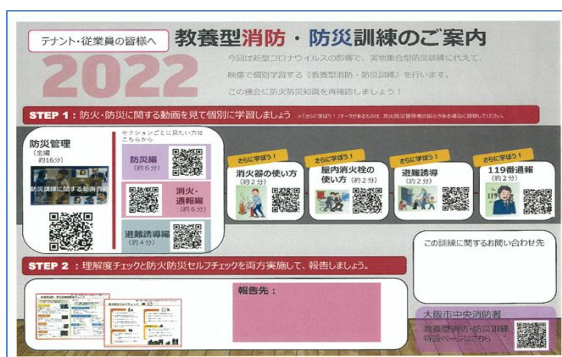
賞味期限切れ直前の備蓄品を従業員に配布処分



名古屋 三井ビル本館での避難訓練(2022年6月)

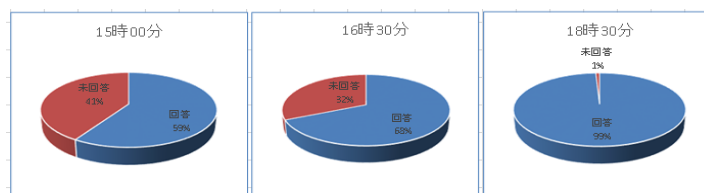


仙台 TKビルでの消防訓練(2022年11月)



大阪 ヨドコウ第二ビルでの動画視聴訓練
(2022年5月)

《 全社 安否確認システムによる回答訓練 》



2022年10月20日 14時発報。4時間半後にほぼ全員回答。

6-6. 環境経営活動のご紹介

職員および協力会社への環境教育

当社で取組んでいるエコアクション21の環境活動をよく理解し、実践していただくために、採用者に対して都度、環境教育を実施しています。職員だけでなく、協力会社に対しても、オンライン開催にはなりますが、春の災害防止協議会と秋の安全大会で、エコアクション21の方針説明と環境活動報告を行い、職員とともに取り組みへの理解を深めていただき、協力をお願いしています。



4-4
技能者の増大



17-17
協力体制



災害防止協議会（2022年4月13日）



安全大会(2022年10月19日)

■ 勉強会への参加

内装・設備・産廃業者など同業者の勉強会として2009年に発足した「環境と安全を考える会」に定期的に参加し、防災施設の見学、法改正や環境問題等の学習や情報交換を行っています。

また、工場がある東京地区の内装会社や専門会社の親睦団体である「日本内装工業会」では、環境に関する勉強会などが年1回開催され、参加しています。

そのほか、市が主催する講演会等にも参加しています。



日本内装工業会(2022年6月)



産業廃棄物適正処理講習会(2022年10月)



令和4年度「講演の集い」(2022年11月)



『脱・温暖化！ひろしま2023』講演会(2023年1月)

6-7. 環境経営活動のご紹介

各営業所のエコ事業所認定

2008年からスタートし、2009年2月に「エコアクション21」の認証を受けて以来14年が経過しました。この認証取得に加え、各営業所(サイト)では独自の申請を行い、環境に配慮した一連の取り組みが評価され、「エコ事業所」としての審査に合格しました。以降、認定・登録証の更新を行っています。

全サイト



エコアクション21
一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)

認証・登録番号: 0003296



認証・登録番号 0003296
 認証・登録事業者 **高島屋スペースクリエイツ株式会社**
 東京都中央区日本橋 2-12-10 高島屋グループ本社ビル 7階
 事業活動 建設業(建築・内装仕上・大工工事等)における企画・設計・施工管理
 対象事業所 本社・東京営業所、札幌営業所、東北営業所、中部営業所(中日本営業所)、大阪営業所(西日本営業所)、京都営業所(西日本営業所)、中・四国営業所、九州営業所
 認証・登録日 2009年2月6日
 更新・登録日 2023年2月6日
 有効期限 2025年2月5日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年改正版」の要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構
 理事長 **森本英香**

札幌サイト



北海道グリーン・ビズ
E登録★★★
xcellent

札幌市 登録番号: 073-0005




さっぽろエコメンバー
★★★
さっぽろエコメンバー登録通知書

さっぽろエコメンバー登録制度実施要綱第4条の規定により貴事業所を下記のとおり「さっぽろエコメンバー」として登録します。
 今後も積極的な取組を維持するとともに、取組内容の継続的な改善を図るために一層のご努力をお願いします。

事業所名称	高島屋スペースクリエイツ(株) 札幌営業所
所在地	札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 9 オーク札幌ビル 2 階
登録区分	レベル3(☆☆☆)
登録番号	073-0013
登録年月日	2022年5月27日
有効期限	2025年5月26日

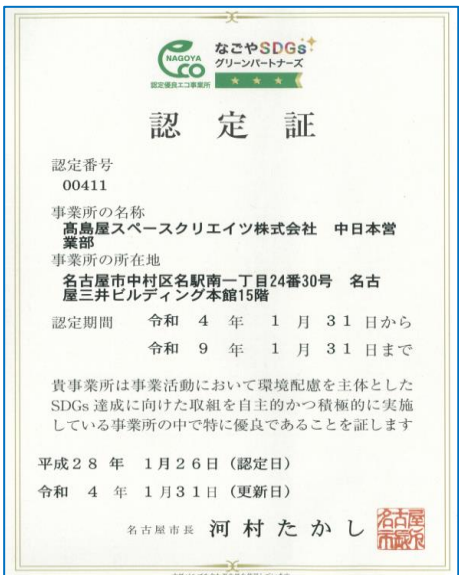
2022年6月27日
 札幌市長 **秋元克広**

中部サイト



なごやSDGs+
グリーンパートナーズ
認定優良エコ事業所

名古屋市 認定番号: 01156




認定証

認定番号 00411
 事業所の名称 **高島屋スペースクリエイツ株式会社 中日本営業部**
 事業所の所在地 **名古屋市千代田区名駅南一丁目24番30号 名古屋三井ビルディング本館15階**
 認定期間 令和4年1月31日から
 令和9年1月31日まで


貴事業所は事業活動において環境配慮を主体としたSDGs達成に向けた取組を自主的かつ積極的に実施している事業所の中で特に優良であることを証します

平成28年1月26日(認定日)
 令和4年1月31日(更新日)

名古屋市長 **河村たかし**



エコドライブマイスター
認定番号: 24-0276




エコドライブマイスター設置事業所証明証

高島屋スペースクリエイツ株式会社 商環境営業部中部営業所

貴事業所はエコドライブ活動を積極的に推進する下記の「エコドライブマイスター」を設置した事業所であることを証します。

認定番号 24-0276
 氏名 **中川 武**
 平成24年12月25日
 名古屋市長 **河村 たかし**



「エコ事業所」認定制度とは…

事業活動における環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業所について、地方自治体が独自の厳正な審査を行い認定・登録するものです。毎年活動実績報告書を市や府県の環境局に提出し、定期的に更新手続きを行っています。



7-3 省エネ促進



11-a 地域の支援

東北サイト



仙台市 認定番号: G22016



大阪 サイト



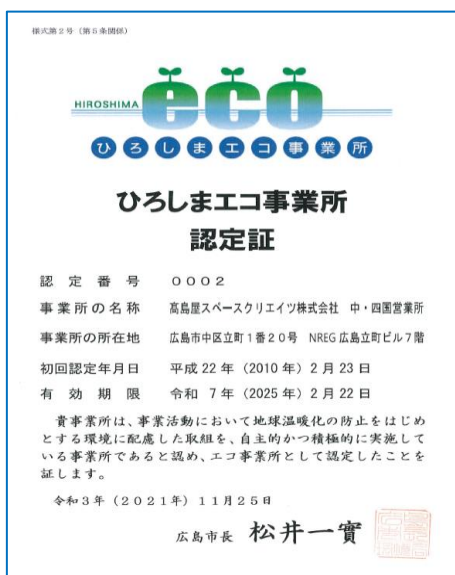
大阪府 登録番号: 27-0091-00

京都市 登録番号: 26-0018-00



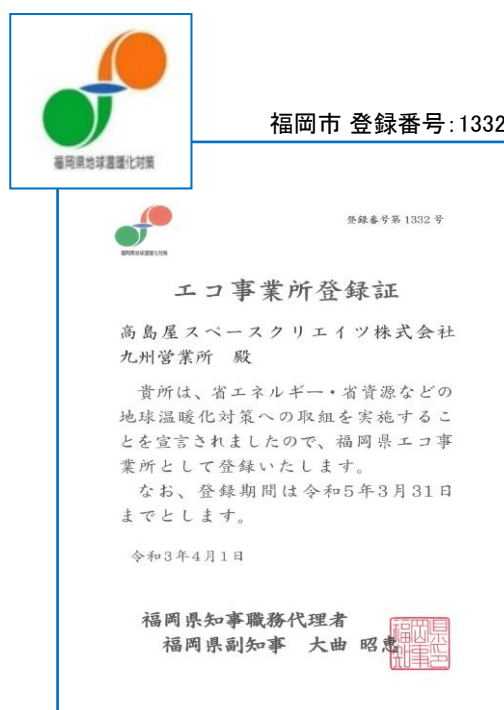
中・四国サイト

広島市 認定番号: 0002



九州サイト

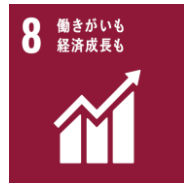
福岡市 登録番号: 1332



6-8. 環境経営活動のご紹介

働き方改革で生産性向上と環境負荷の低減

SDGsを取り組むうえで、当社が的を絞った取り組みの一つが「働き方改革」です。エコアクション21をスタートした当時から現在に至るまで、下記の取り組みを実施しています。



8-2
技術向上と生産性向上
8-8
安全・安心な労働環境

■ テレビ会議システムの導入

ISDN回線を使った古いテレビ会議システムを2012年8月よりインターネット回線を用いたソフトに入れ替え、MS Teamsを使ってより多くの地点と快適に接続できるようになりました。

MS Teamsにより出張回数が大幅に削減できるようになっただけでなく、パソコンがあれば一人でも手軽に他の営業所の会議に参加することができ、より情報の共有化がしやすくなりました。



■ グループウェアの活用

従来のメールシステムのサポート終了を機に、2014年2月から新メールシステム desknet's NEOと入れ替えました。このシステムは、メールのやり取りに加えて、スケジュール管理、施設予約、掲示板、文書保管など、様々な機能があり、資料の閲覧や紙ベースの保管・掲示に代わって情報の共有化とペーパーレス化に大いに役立っています。



■ タブレット端末の導入とフリーアクセス

本社・東京営業所は2019年2月の移転に伴い、フリーアドレスを導入し、無線でどこからでもパソコンがアクセスできるようになりました。

また、営業担当や現場管理者には、タブレット端末が貸与され、外出先からインターネットを通じて社内のネットワークに接続できます。

2021年には「働き方改革」の一つとして、テレワーク制度が制定され、感染予防と移動時間の削減に大きく貢献しています。



本社・東京営業所のフリースペース

■ PHSや携帯電話をスマートフォンに切り替え

現在、全職員に貸与されているスマートフォンは、desknet's のメールが読めるだけでなく、GPSデータと連動した出・退勤の打刻ができます。また、高島屋グループの安否確認システムも組み込まれ、緊急時にメールで本人や家族の安否が確認できるようになっています。

■ 熱中症対策

工事現場の熱中症対策は毎年の課題ですが、塩分補給の飴や経口補水液の配備に加え、最近では現場管理者に対して空調服を貸与しています。更に2019年から、従来品よりも通気性が増して涼しく水洗いでき、しかもリサイクルできるカーボンオフセット取得商品のヘルメットに順次交換し、労働環境の改善を図っています。



■ 労務安全書類の電子化(グリーンサイト)

元請工事では、労務安全書類(再下請負通知書や作業員名簿等)を協力業者に作成依頼し、管理・保管する必要があります。この安全書類を、エコアクション21と同じく2008年にスタートした当社の安全衛生管理システムに基づき、協力業者が紙ベースで作成して、グリーンファイルとして管理していました。

2019年下期から、この書類を電子化して作成・閲覧・提出・管理できるグリーンサイト(会員制インターネットサービス)の運用を開始しました。当社が指定した物件の安全書類を、このシステムに加入した業者が作成することで、管理業務の効率化及びペーパーレス化が図られています。

建築工事現場での環境活動

環境活動の取組は、事務所の中だけでなく、本業である建築内装工事において企画・設計・施工管理・メンテナンスに至るまで、あらゆる面から環境負荷の低減や廃棄物の削減に努めています。

例えば、工事中の仮設照明は、従来の白熱灯の投光器は使用禁止とし、ほぼLED照明になりました。

更に廃棄物の分別や3Rの推進など、現場で実践するため、「建設工事における環境活動項目」を活用して、現場の作業員一人ひとりが環境負荷や資源の有効活用を意識し、造る責任・使う責任を果たしています。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
7-3 エネルギー効率の
向上



12 つくる責任
つかう責任
12-5 廃棄物の削減

現場で実践！エコアクション21環境活動

3Rの推進

R リデュース (発生抑制)
Reduce 現場で出るゴミの量を減らしましょう！

- 現場でゴミが出ないように、工場加工・組立てをしておきましょう。
- 使い捨ての梱包材・容器は、簡易包装や再使用を工夫しましょう。

R リユース (再使用)
Reuse 使える物は繰り返し使しましょう！

- 養生材やパッキン、容器など、繰り返し使える物は再使用しましょう。
- 再使用できる什器・備品は、リメイク・クリーニングして再使用しましょう。

R リサイクル (再生利用)
Recycle 分別して資源として活かしましょう！

- 繰り返し使えない物、廃材は、できるだけ細かく分別し、リサイクル施設で原料に戻しましょう。(混ぜればゴミ、分ければ資源)

高島屋スペースクリエイツ株式会社

現場で実践 3R推進ポスター

建設工事における環境活動実施項目

環境活動実施項目	備考
現場事務所での実施項目	
① 不要な場所と昼休みの消灯、不在時のパソコン電源OFF	パソコンは、省エネモード
② 過剰な冷蔵庫の禁止(夏は28℃、冬は20℃)	
③ 夏場はクールビズを、冬場は重ね着をする。	クールビズは5月スタート
④ コピー機等の事務機器は、省エネ型を選択する。	
⑤ 暗くなる前に仕事が終わるように結業時間を調整する。(サマータムの導入)	
⑥ 使用していない電気器具は、コンセントからプラグを抜く。	待機電力の削減
⑦ 手洗いは、出しっぱなしにしない。	節水の推進
⑧ エコマーク商品を優先的に購入する。	グリーン購入基準を参照
工事現場内での実施項目	
① 作業場内は、出来るだけ自然光を取り入れ、照明を節電する。	最低照度 700 Luxを確保
② 投光器は、白熱灯を蛍光灯やLED等の省エネ器具に取替える。	
③ 不在時、休憩時は消灯する。	
④ 使用していない電動工具は、コンセントからプラグを抜く。(不在時、休憩時も同様)	電気災害の防止
⑤ ラジカセなど、個人の電気製品は、現場の電源を使用しない。	
⑥ 悪臭・騒音・振動の発生防止または抑制に努める。	周辺環境、第三者への配慮
物流面での実施項目	
① 適正な工程管理で資材を効率よくまとめで搬入する。(運搬回数を減らす)	協力会社にご相談・要請
② 梱包方法、積み方を工夫し、積載量や廃棄物を減らす。	#
③ トラック、営業車はエコドライブを心掛ける。また、停車時のアイドリングは必要最小限にする。	#
④ 梱包材を現場の養生材、または次の梱包材に再利用する。	#
工法改善と品質管理	
① 油性塗料を水性にする。塗膜をシートやフィルムにする。	SDSで化学物質を確認
② プレキャスト、パネル工法等で現場での加工時間を短縮し、ゴミを減らす。	設計段階からのVE
③ 設備チェックによる品質・安全管理を徹底し、手直し・手戻り、引き渡し後の事故・トラブルを無くす。	無事故は最大のエコ
適正な廃棄物処理	
① 廃棄物の運搬・処分委託契約を事前に行う。	廃棄物処理法の遵守
② 廃棄物の発生をできるだけ抑制する。	協力会社にご相談・要請
③ 廃棄物の分別を徹底する(分別率の向上＝リサイクル率の向上)	#
④ マニフェストを適正に発行する(紙マニフェストから電子マニフェストへ)	#

(注1) このチェックリストは、4,000万円以上の元請工事を実施する。
 (注2) 現場環境管理責任者は、現場代理人または任命者とし、チェックリストは、工事完了後、安全監理担当に提出する。
 (注3) マニフェスト回収後に安全監理部門で当該現場の廃棄物集計表を作成し、チェックリストに添付して保管する。

建設工事における環境活動実施項目



事務所および工事現場のゴミの分別の徹底

■ 事務所のゴミ(一般廃棄物)の分別

各営業所では、その地域の条例やビルのルールに従い、分別を行っています。分別を徹底することにより、ゴミを資源として再生され、廃棄物の削減につながっています。図面や見積書等の機密書類は、できるだけシュレッダーに掛けたり焼却処分にせず、専用のカートに集積したり、ダンボール箱に密封してから、溶解処分しています。これにより焼却による二酸化炭素の発生を抑制できるだけでなく、トイレトペーパー等にもリサイクルされています。



12-5 廃棄物の削減



写真で分別内容を表示(中部)



各階の廊下に配置されている分別BOX
詳しい分別内容を張り紙で表示(東京)



再生できる紙・できない紙、プラスチック類、その他の分別をイラストで表示(大阪)

■ 工事現場のゴミ(産業廃棄物)の分別

各工事現場で大規模現場の場合は、品目ごとのカゴ台車を設置し、小規模の場合は袋に入れて分別、現場事務所の一般ゴミはゴミ箱で分別しています。また、多くの協力会社が混在する場合、事前に各社に指定のゴミ袋を販売する方法で、分別の徹底と費用を意識することによりゴミの削減につながっています。



カゴ台車による分別



木製カートと袋で分別



現場事務所の分別BOX

値段の異なる6種の廃棄物処理袋



番号	処理袋	袋の色
1	紙類、可燃物	桃色
2	混合物、不燃物	青色
3	金属くず	緑色
4	廃プラスチック	灰色
5	木くず	茶色
6	石膏ボード	黄色

産業廃棄物の管理と処理業者の確認

当社の元請工事現場から排出される産業廃棄物の管理は、事前に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を発行し、排出後にすべて結果報告を受けて集計を行っています。また、収集運搬および処分業者に対しては、建設廃棄物処理委託契約書および処理料金の支払いに関する覚書を交わし、適正に処理を行っています。



11-6 廃棄物の管理



12-4 廃棄物の管理

■ 電子マニフェストシステムの導入

産業廃棄物管理票は、従来7枚複写の用紙を使っていましたが、エコアクション21をスタートした時期と同じく、2008年12月から JW NETの電子マニフェストシステムを導入しました。以降、お取引先には、JW NETに加入していない産廃処理業者との委託契約は極力お断りしています。



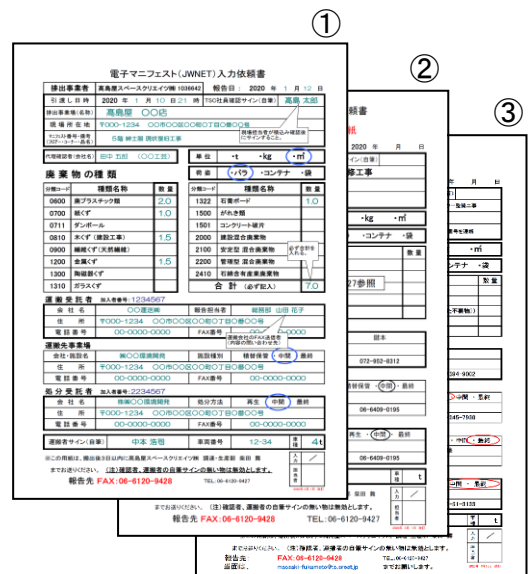
その結果、現在ではほぼ 99%が電子マニフェスト入力に移行、ペーパーレス化と同時に管理票の回収が不要となり、集計業務もデータベースから工事別や都道府県別に抽出できるようになりました。また、処理の遅延や変更があればお知らせが来るなど、かなりの事務作業の省力化ができるようになりました。

■ 電子マニフェスト入力依頼書

紙のマニフェストに代わり、電子で処理するために、収集運搬業者に電子マニフェスト入力依頼書を手渡し、搬出時に記名・数量確認を行った後、FAXまたはメールで報告を受けています。元請が数量を入力すると、運搬・処分の状況が画面で確認できるようになります。

この依頼書には、以下の3種類の用紙があります。物件ごとに排出事業場名、収集運搬会社名、中間処理会社名等を入力した用紙を使い分け、プリントして必要数を業者に渡して報告を依頼し、入力処理をしています。

- ① 通常の建設系産業廃棄物
- ② 蛍光灯などの水銀含有産業廃棄物
- ③ 石綿含有産業廃棄物(レベル3まで)



■ 産業廃棄物処理業者の視察・確認

契約した産業廃棄物処理業者に対して、現地確認チェックリストに基づき、当社から排出された産業廃棄物が適正に処理されているか、施設に改善点がないか等の確認を年1回程度の視察で行っています。

現地確認事項	① 産業廃棄物収集・運搬、処分業の許可
	② 産業廃棄物の分別・保管の状況
	③ 分別・再生処理設備と処理能力
	④ 従業員の健康管理と福利厚生対応
	⑤ 施設の立地と近隣への環境配慮 他



劇場椅子の手作業分別



混廃の手作業分別



廃プラリサイクル原料と出荷前状態

2022年6月視察(東京)

6-12. 環境経営活動のご紹介

環境に配慮したプランニングデザイン

当社では、お客様に対して「環境に配慮した企画・設計・提案・商品開発」を心掛け、様々な取り組みを行っています。

■ LED照明の導入推進

LED照明は、かなり普及しましたが、当社ではすでに10年以上前から照明器具メーカーと演出効果の高いLED照明の共同開発を進めて参りました。現在では、最大顧客である高島屋百貨店の全ての店舗で照明のLED化が完了し、消費電力の大幅削減に貢献しました。

また、従来の照明器具と比較して発熱量が少ないことから、空調の効率も良くなり、長寿命のためメンテナンスの面も含めて二酸化炭素と経費削減に大きく貢献しました。この実績を踏まえ、他の商業施設でも目的に合った機種を提案を行っています。今後は、有機ELなどLEDに代わる発光体を応用した照明器具や、リサイクルできる素材を使った商品のデザイン・提案も進めてまいります。



7-3 エネルギー効率の向上



9-b 商品への付加価値創造



11-c 現地資材採用



15-2 森林の持続

■ カーボンオフセット商品の採用促進



カーボンオフセット商品出荷 (CO2削減) 証明書



タイルカーペットリサイクル証明書

2008年10月、東京営業所の改装に際して、業界初の「カーボンオフセット」対象のタイルカーペットを1,088㎡採用しました。メーカーより5.2トンのCO2削減証明書を受領し、剥した古いタイルカーペットはリサイクル工場に持ち込み、タイルカーペットの原材料にリサイクルされました。この実績を踏まえ、以降、ホテルやオフィス、各百貨店で採用されるようになりました。

カーボンオフセット商品は、その商品を採用したお客様に対して二酸化炭素削減の証明書が発行され、環境負荷低減に貢献したという評価がなされます。

■ 家具のリペアによるリユースの提案

ホテルやレストランの改装では、大量の家具が廃棄されます。これは残置物と呼ばれ、廃棄物処理法では、施主が自ら廃棄しなければならず、元請工事業者が廃棄することができません。これを新品同様にリペア(補修・再塗装・張り替え)することにより、廃棄費用や新品購入費を節約できるだけでなく、お客様自身が二酸化炭素削減と資源の保護に貢献したことになります。

■ FSC認証商品の採用推奨

既成家具のメーカーから商品を選ぶ際は、世界の森林資源を守り、森林資源を有機的に活用するために、森林認証『FSC®』を受け適切に管理された輸入材や国産材を積極的に使用している商品をお客様にお薦めしています。

また、提携工場(前当社大阪工場)では、『FSC®』に加えて、森林認証『PEFC』を取得しています。更に合板等の資材の調達先は、グリーン購入法に係る事業者認定証を取得しています。

ほかに、節水トイレへの入れ替えや古材・古民家の活用など、環境に配慮した提案活動を推進しています。



A-(1)-110082



責任ある森林管理のマーク



グリーン購入事業者認定

森林認証『FSC®』(Forest Stewardship Council 森林管理協議会)

森林認証『PEFC』(Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes)

育林事業 「高島屋スペースクリエイツの森」

「高島屋スペースクリエイツの森」は、職員の提案による社会貢献事業として1992年の苗木募金からスタートし、林野庁の分収造林制度を利用して、静岡県浜松市の自然休養林内に3.18ヘクタール(約1万坪)の土地を借り受けました。その土地に約9,000本のヒノキや広葉樹を植樹して以来30年が経過しました。

1993年4月の植樹祭から5年間、下草刈りに参加した社員ボランティアは延べ600名に達し、見事な森に再生した現在は、地元の森林組合に枝打ちや間伐などの維持管理を委託しています。

【森の概要】

- 場 所 : 静岡県浜松市北区三ヶ日町只木 第70林班(奥浜名自然休養林内)
- 面 積 : 1年目・・・2.25ヘクタール 2年目・・・0.93ヘクタール
- 植 樹 : ヒノキ・・・8,280本、スギ・・・300本、広葉樹・・・487本
合計 9,067本 → 2012年にヒノキ・スギを約10%間伐し現在、約 8,200本
- 契 約 : 林野庁 関東森林管理局の分収造林制度(1993年より60年契約)
※成木の売却収益を国:30%、当社:70%で分割する。



植樹前の森(1993年3月)



山頂広場での植樹祭(1993年4月)



社員の手で下草刈り(1994年 8月)



森林組合による枝打ち作業(2015年 2月)



山頂広場の標識(2018年6月)



森の全景(2018年6月)

この森の木が成長に伴って大気中の二酸化炭素をを吸収し削減に大きく貢献するだけでなく、環境への意識を高めるうえで当社の教育材料にもなっています。

苗木が成木になるまで60年。下草刈り、枝打ち、間伐と、地道で根気のいる作業が続きますが、木や森の恩恵を受けている私たちは、これからも感謝の気持ちを込めて森林育成活動を続けてまいります。

7. 環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟等の有無

2022年度 環境関連法規等の確認と遵守状況、違反・訴訟等の有無

- 環境関連法規 及び事業活動を行う各地域の環境関連条例のネットにて調査を行い、「環境関連法令・条例等順守チェックリスト」を作成して、サイトごとに適合状況をチェックし、順守しました。
- 環境関連法令・条例等は、全てのサイトにおいて順守し、違反はありません。
産業廃棄物は、100%マニフェストを発行し、適切に処理されていることを確認しています。
関係当局からの違反の指摘も過去3年間以上ありません。また、訴訟についても同様にありません。
- 法改正等については、随時職員・協力会社に通知し、必要に応じて教育や説明会を実施しています。また、実施確認の不備事項については、該当する関係先に是正指導と周知徹底を行いました。

区分	業務に関係する主な環境法規制等の名称(略称)	規制内容 (要求事項、実施事項)	実施確認	評価
環境経営	環境基本法	自然環境への負荷の低減に努める	○	○
	グリーン購入法	可能なかぎり環境配慮商品を優先的に購入する	○	○
	地球温暖化対策法	温室効果ガスの排出を抑制する	○	○
	環境配慮促進法	事業活動に係る環境情報の提供に努める	○	○
	環境教育等促進法	社員・取引先に対する環境関連教育を実施する	○	○
工事関係	大気汚染防止法	塗装における揮発性有機溶剤の使用を抑制する	○	○
		石綿事前調査記録を作成し、3年保存。下請負人に説明する	○	○
	水質汚濁防止法(下水道法)	工事中における公共用水域(下水道)への汚水の流入を防止する	○	○
	廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理とマニフェストの交付・保管	○	○
		水銀、石綿含有産業廃棄物の適正処理	○	○
	建築基準法	石綿含有建材、クロルピリホス添加建材の使用禁止	○	○
		ホルムアルデヒドの規制と環境測定の実施	○	○
	建設リサイクル法	廃棄物の分別と再資源化を促進する	○	○
	家電リサイクル法	特定家電製品を適正に処分する	○	○
	消防法	火気使用の注意と消防計画・訓練を実施する	○	○
	道路交通安全法	事前の使用許可の申請を徹底する	○	○
	労働安全衛生法	建築物の解体等における石綿の飛散を防止する	○	○
		石綿含有建材の除去作業の適切な手順を遵守	○	○
		請負金額100万円以上の解体・改修工事の石綿事前調査を行い、結果を届出(システム申請)する	○	○
		化学物質のリスクアセスメントを実施する	○	○
	騒音規制法	建築物の解体等における騒音発生を抑制する	○	○
	振動規制法	建築物の解体等における振動発生を抑制する	○	○
悪臭防止法	塗装工事・防水工事等における悪臭発生を抑制する	○	○	
フロン排出抑制法(2020年改正)	第1種特定製品(エアコン等)の定期点検の実施	-	-	
	建築物の解体等におけるフロンの回収を適正に行う	○	○	
各都道府県・市の環境関連条例	※石綿関係の条例は安全監理部に確認する	○	○	

※ 環境法令・条例の確認については、各営業所の内部監査を実施するとともに、日本建設業連合会・環境経営部会監修 (株)富士経済ネットワーク環境法令室の全国版「環境法規制等順守チェックリスト」から当社の業務内容に合った項目を抜粋・編集し、また、所轄の環境局のHPなどネットで検索して新規条例の追加・確認を行っています。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

2022年度 代表者による全体評価と見直し・指示

環境経営方針	方針別 環境経営目標と達成状況		代表者による全体評価	見直し・指示
1 環境関連法令や自主基準等の遵守、有害な物質の使用禁止に努め、安全・安心な資材・製品の使用を促進します。	0101 法令・条例等の遵守	法令・条例違反なし	各営業所ともに、法令・条例をよく遵守し、お客様の信頼を得ることができたことは大いに評価できる。	今後も年1回以上、内部環境監査と同時に法令・条例の調査を実施すること。
	0102 有害物質の使用禁止 グリーン購入促進	有害物質の使用なし コピー用紙は達成 事務用品は未達成	ホルムアルデヒド等の有害物質を含む材料は一切使用しておらず、協力会社の作業員に対しても化学物質リスクアセスメントを実施させている。 事務用品は、安価な事務用品を優先購入しているためやむを得ない部分があるのは理解する。	協力会社への化学物質リスクアセスメントの実施を周知徹底し、健康被害を絶対出さないこと。 引き続き、電子化を推奨し、コピー用紙削減に努めること。
2 CO ₂ 削減など、環境負荷の低減に努めます。	0201 TSCの森による取組	維持管理の継続	森林管理署、森林組合の協力を得て維持管理している。	引き続き、維持管理すること。
	0202 事業所・現場での取組	目標値に対し、電気量は達成 ガソリン量は未達成 トータルでは達成	トータルでは、目標値を大きく上回る結果となったことは大いに評価できる。 水使用量は、入居しているビル側の管理のため計測はできないが、各自が意識して節水に努めている。	すべての営業車をハイブリッド車にする。 職員は引き続き、公共機関による移動を心がけること。
3 資源の有効活用、廃棄物の3R(発生抑制・再使用・再生利用)に努めます。	0301 廃棄物の適正処理と混合廃棄率削減と資源の有効活用	マニフェスト発行100%実施 産廃契約書発行100%実施 事務所のごみ、現場の廃棄物の分別は良好(努力目標)	各元請工事現場から排出される産業廃棄物について、すべて委託会社と事前契約を交わし、100%マニフェストを発行して適正に処理されている。 事務所・現場ともに3R・分別(容器で分別)の意識は定着している。 処理業者の現地視察は2カ所行った。	引き続き、新入社員や中途採用者に産業廃棄物適正処理の教育を行い、分別を周知徹底させること。 引き続き、事務所・現場ともに3R・分別を行うこと。
4 環境に配慮した企画、設計、提案、商品開発に努めます。	0401 LEED認証資格の活用	資格の取得	1名資格を取得できたことを評価する。	受注促進のための準備を進めること。
	0402 環境に配慮したエコ材料・商品の情報収集・提案・採用	積極的に環境配慮商品の情報収集・提案および採用を実施(努力目標)	該当部門では、環境に配慮した設計や提案を心掛け、お客様にお薦めしている。 社内展示会も開催されるようになった。	今後もお客様に喜んでいただけるような提案ができるように、情報の収集と共有化に努めること。 協力会社と共に社内展示会を開催し、新商品の勉強をすること。
5 全ての従業員とその家族、お取引先に環境経営方針の徹底をはかり、環境保全活動の輪を広げます。	0501 環境活動の社内・外への周知徹底とエコ活動の拡大	年1回の環境経営レポートの発行 各地の総会・大会で活動報告を実施	春の災害防止協会と秋の安全大会で、全国の職員や協力会社に当社の環境活動をPRできた。	協力会社への環境活動紹介を継続的に実施する。 環境経営レポートは、内容を明確にし、顧客に対するPRを強化していく。
環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制等の見直しの有無				なし
総合評価	2022年度はコロナ禍の影響も継続し厳しい経営環境でしたが、下期以降制限された中でも、ラグジュアリーブランドやホテル・宿泊施設などの投資は堅調で、売上自体は回復しました。厳しい受注競争により、利益率は大きく低下することとなりましたが、職員や協力会社の皆さんの努力のお陰で年度の利益確保につながりました。感謝しています。2023年度はコロナ感染対策制限も解除され更に経済活動も活性化し、建設市場は大きく伸びると予測されていますが、2024年問題や作業員不足や資材高騰の懸念も大きく、当社は更にソフト力・技術力や事業インフラを強化するための投資や要員確保を行い、協力会社の皆さんとタッグを組んだ受注、施工体制で事業の成長に向けて取り組んで参ります。 これまでは環境活動の継続により、取り組みは全社に定着しているものの、新たな取り組みは出来ておらず、次年度に向けて「エコアクション21」活動を更に全社の取組みとするべく、体制や役割を整えて取り組んで参ります。合わせて「サステナブルな環境をかたちにする」をテーマとしたESGにも取り組み、環境経営目標の持続と達成を目指してまいります。			

